



音まち千住の縁

報道関係者各位

プレスリリース

令和3(2021)年8月23日(月)

アートアクセスあだち 音まち千住の縁

インドネシア、タイ、マレーシアなどアジア地域と、日本をつなぐフェスティバル  
「アジアだじゃれ音LINE音楽祭」  
2021年9月12日 オンラインにて開催！



東京都足立区を拠点に音をテーマにしたアートプロジェクトを展開する「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」のプログラムの一つ、「千住だじゃれ音楽祭」では、2021年9月に東南アジアと日本をつなぎ、市民と各国のアーティストがリモート参加を通して共に創造する「オンライン音楽祭」を開催します。

「野村誠 千住だじゃれ音楽祭」は、地域の人たちが、気軽にだじゃれを言い合い、そこから音楽を生み出し、市民と共に作り上げます。「だじゃれ」は、別々の言葉をつなげることで生まれるパワーを楽しむものであり、「だじゃれ音楽」は、その力を活かした、新しい作曲方法の開発に向けた取り組みでもあります。

今回「千住の1010人 from 2020年」プログラムの一環として、2020年度から作曲家・野村誠と活動の中核を担う市民有志の音楽団体「だじゃれ音楽研究会(通称:だじゃ研)」を中心に、タイ・インドネシア・マレーシアの作曲家と交流しながらオンラインで新しい音楽表現を生み出す実験を重ねてきました。そんな活動の集大成として、スペシャルゲストとのトークや作品上演、だれでも参加できるオープン・ワークショップなどを盛り込んだ音楽フェスティバルを開催します。

リアルな場で集うことの難しい時代だからこそ、今の時代を映し、国境を越えたオンライン音楽の可能性を探ります。色々な国に出かけて行って、そこで出会った人たちと交流し、音楽をつくってきた野村誠らしいアットホームな雰囲気の中、さまざまな言語や音楽が飛び交う新たな「だじゃれ音楽」の形を、ぜひ貴メディアにてご紹介、ご取材などいただけますと幸いです。

〈開催概要〉

【日時】2021年9月12日(日)15時～19時

※当日のスケジュールの詳細は下記、イベントスケジュールにてご確認ください。

【視聴方法】音まち公式YouTubeチャンネルから

【視聴料・参加費】無料(通信料はご負担ください)

【出演】野村誠、アナン・ナルコン(タイ)、メメット・チャイルル・スラムット(インドネシア)、

ウン・チャー・グウワン(マレーシア)、佐久間新、ヨード(タイ)、ガンサデワ(インドネシア)、北澤潤、だじゃれ音楽研究会

## イベントスケジュール

時間	編成	題目	内容
15:00~ 16:30	第1部	ゲストインタビュー& だじゃれ音楽新作発表	野村誠とだじゃれ音楽研究会が、アジアのアーティストたちと生み出しただじゃれ音楽をインタビューも交え、発表します。
		出演：野村誠（作曲家）、アナン・ナルコン（タイ）、 メメット・チャイルル・スラムット（インドネシア）、 佐久間新（ジャワ舞踊家）、ウン・チョー・グアン（マレーシア）、 胡舟ヒフミ（だじゃれ音楽研究会）、石橋鼓太郎（千住だじゃれ音楽祭事務局）	
16:45~ 17:15	トークタイム	1部と2部のあいだの対話 「北澤潤は、どこにいるのか？ -ジョグジャ・東京・そのあいだ」	インドネシアのジョグジャカルタを拠点に活動している北澤潤さんをお迎えし、インドネシアの実情などアートの滲み出るトークをします。
		出演： 野村誠（作曲家）、北澤潤（美術家）	
17:30~ 19:00	第2部	だれでも参加できる！ 参加型オープン・ワークショップ	各国のアーティストや市民がリモート参加、多言語が入り交じる即興セッションを行います。演奏経験は問いません。お気軽にどうぞ。
		出演：野村誠（作曲家）、アナン・ナルコン（タイ）、 メメット・チャイルル・スラムット（インドネシア）、佐久間新（ジャワ舞踊家）	

## プロフィール

### ◆本企画ディレクター



#### 野村誠 | Makoto Nomura

1968年名古屋生まれ。作曲家、ピアニスト、鍵盤ハーモニカ奏者。クラシック、ロック、邦楽、民族音楽など様々な音楽ジャンルを越境し、美術、舞台、文学、だじゃれ、相撲、建築、教育、福祉、飼育、環境など異ジャンルとコラボレーションを積極的に行う。日本センチュリー交響楽団コミュニティプログラムディレクター。千住だじゃれ音楽祭ディレクター。日本相撲聞芸術作曲家協議会（JACSHA）理事。第1回アサヒビール芸術賞などを受賞。

### ◆出演ゲスト



#### アナン・ナルコン | Anant Narkkong

タイ民族楽器奏者（ピア・ピーパット等）、民族音楽学者。タイ出身・在住。実験音楽グループ「コーファイ | Korphai」主宰。シラパコーン大学（タイ国立大学）で、民族音楽学の教授を務めながら、野村誠らとともに即興パフォーマンスユニット「アイ・ピクニック | I-Picnic」としても活動。2009年には国際現代音楽祭「コントラスト・フェスティバル」（オーストリア）に招聘されるなど世界的に活躍する。



### メメット・チャイルル・スラマツ | Memet Chairul Slamet

作曲家／フルート・オカリナ・スリン(インドネシアやフィリピンで使用されている竹製の笛)奏者。インドネシア出身・在住。インドネシア国立芸術大学講師。民族楽器バンド「ガンサデワ | Gangsadewa」主宰。



### ウン・チョー・グウワン | NG CHOR GUAN

マレーシアの作曲家、サウンドアーティスト、テルミン奏者、即興演奏家、教育者、サイクリストであり、Toccata Studioの共同設立者。大陸をまたぐ多くの国際芸術祭へ参加。多様な作品を生み出しており、その作品群は同時代のテクノロジーの流れに根ざし、またパフォーマンス・アートのカテゴリーを超えた作品制作を創造している。



### 佐久間新 | Shin Sakuma

流れる水のように舞う舞踊家ベン・スハルト氏に出会いジャワ舞踊を志す。伝統舞踊におけるからだのありようを探求する中から「コラボ・即興・コミュニケーション」に関わるプロジェクトを展開中。演出作品に「だんだんたんぽに夜明かしカエル」(2019)等。海外公演に“Patina”, OzAsia Festival, Adelaide. (2019)等。コロナ下のリモートダンス「カエルケチャ」(2020)を開催。



### ヨード | Yord

自然界のあらゆる要素を独創的な人形に変換し、常に変った方法で物語を語る多才な人形師。タイ東北部に住み、旅をし、ワークショップを行い、彼の空想の人形の夢をかなえる小さな子供たちと一緒に、移動式人形劇団を運営。



### ガンサデワ | Gangsadewa

インドネシアを中心に活躍する民族楽器バンド。主な公演歴は、シドニー・オペラハウス(2010)やメルボルン・アートセンター(2010)でのパフォーマンスなどがある。2013年11月、野村誠 千住だじゃれ音楽祭 国際交流企画第1弾:インドネシア篇「メメットを藝大に歓迎だい！」に出演。



### 北澤潤 | Jun Kitazawa

美術家。1988年東京生まれ。インドネシア共和国ジョグジャカルタ在住。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。合同会社北澤潤八雲事務所(東京)、スタジオ・ビリンビン(ジョグジャカルタ)代表。さまざまな国や地域でのフィールドワークを通して「ありえるはずの社会」の姿を構想し、多様な人びととの立場を越えた協働によるその現実化のプロセスを芸術実践として試みる。

◆お問い合わせ先 | 「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」事務局

[MAIL] info@aaa-senju.com [Web] <https://aaa-senju.com> [TEL] 03-6806-1740 (13~18時、火曜・木曜除く) [担当] 西川

◆アートアクセスあだち 音まち千住の縁(通称「音まち」)とは

アートを通じた新たなコミュニケーション(縁)を生み出すことをめざす市民参加型のアートプロジェクトです。足立区千住地域を中心に、市民とアーティストが協働して、「音」をテーマにさまざまなまちなかプログラムを展開しています。千住の文化サロン「仲町の家」もオープン中！

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、

東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、特定非営利活動法人音まち計画、足立区

助成：国際交流基金アジアセンター アジア・文化創造協働助成

後援：墨田区、台東区

協力：「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会(予定)

※ 本事業は「東京アートポイント計画」として実施しています。

※「千住の1010人 from 2020年」における墨田区・台東区との提携については、令和3年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業「2020の先にある新たな文化政策を実現するための広域連携について思考し実践する人材育成講座 Meeting アラサミ！」の一環として行われる予定です。

※ プログラムの内容は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

